

MISSIONS OPERATIONS REFERENCE MODEL

「ミッション運用(MO)参照モデル」

Magenta Book
CCSDS 520.1-M-1
発行月: 2010年7月
ISO 18201:2013

【概要】

本推奨実践規範は、ミッション運用(MISSIONS OPERATIONS:MO)の各種サービスに関連する推奨規格(Blue Book)を制定する上で、各推奨規格間の統一を目的として、共通的な方針として参照モデルを定義するものである。

【内容】

ミッション運用の各種サービスにおいて、参照モデルを記述する際の文書体系、用語定義、図形表現の取り決め等を規定している。以下に、図形表現の取り決めの例を図1~3に示す。

本推奨実践規範記述概要を以下に示す。

1. 導入

本実装推奨の目的、適用範囲、根拠文書体系、参照先、略称の定義、取り決め、基準となる参照先

2. 概要

相互作用のパターン、メッセージ概念、ミッション運用サービス、ミッション運用フレームワーク、相互運用性、移植性、配置

3. ミッション運用の背景とコンセプト

サービスの背景、サービスの分解、サービスメッセージ、サービスの配置、セキュリティとアクセス管理、サービス品質、一般的なオブジェクトモデル

4. ミッション運用の構造モデル

ミッション運用構造モデルの俯瞰、最上位の構造モデル、応用層の構造モデル、メッセージ層の構造モデル、トランスポート層の構造モデル

5. ミッション運用サービスの相互作用

セキュリティとログイン、セキュリティ上の挑戦、初期コミュニケーション

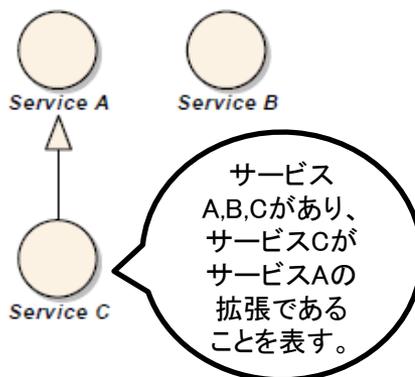


図1: サービス拡張の表現取り決め

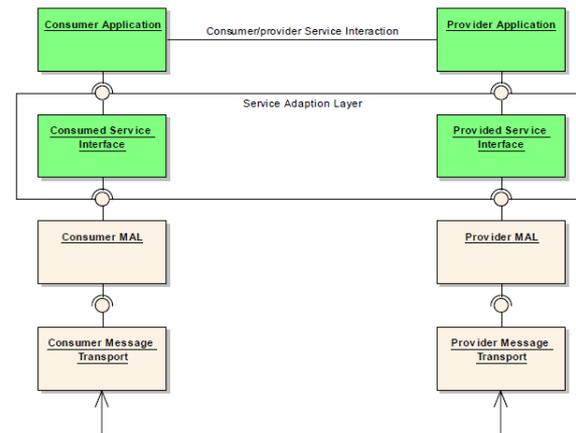


図3: 階層化の表現取り決め

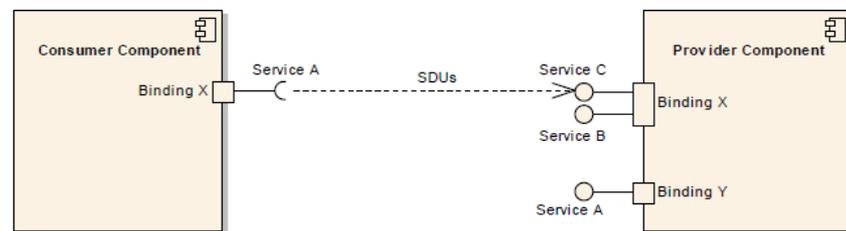


図2: コンポーネントの表現取り決め

各国宇宙期間及びJAXAの動向

ESA(欧州宇宙機関)、CNES(フランス国立宇宙センター)が本実装規範の採用について計画中である。JAXAは本実装規範の作成に参加した。